

全国歯科大学・歯学部附属病院 診療放射線技師連絡協議会会誌

*The Japanese Meeting of Radiological Technologists in
Dental College and University Dental Hospital*

【巻頭言】	時には昔の話を アナログ撮影の思い出	明海大学	石澤 博和	1
【調査・研究費助成、奨励賞】	調査・研究費助成制度、奨励賞のご案内			2
【2026 年度総会・歯科放射線技術研修会プログラム】				4
【教育講演】	読影の補助の充実を目指して 大阪歯科大学 歯科放射線学講座 准教授		秋山 広徳	8
	明日からやってみよう、頭頸部領域の MRI 撮像技術	フィリップス・ジャパン	宅見 寿輝	9
【特別講演】	歯科領域における AI 研究の現状および頭頸部領域の画像診断	大阪歯科大学 歯科放射線学講座 主任教授	有地 淑子	10
【アンケート結果報告】	診療放射線技師養成施設に在籍する学生の進路選択および 歯科放射線領域に対する意識調査	神戸常盤大学	寶部 真也	12
【研究報告】	新規導入した歯科用 CBCT における画質の基礎検討	東北大学	佐藤 由佳	13
	口内法 X 線撮影における撮影条件の再検討	鶴見大学	奥山 祐	14
	パノラマ X 線撮影装置の線量評価における計測誤差の検証	神戸常盤大学 学生	飯田 愛琉	15
	Compressed SENSE と SENSE における Reduction Factor 変化による画質特性	大阪歯科大学	財家 俊幸	16
	口内法エックス線撮影装置における表面汚染の定量評価	大阪歯科大学	寺島 秀	17
【施設紹介】	大阪歯科大学附属病院	大阪歯科大学	近藤 淳史	18
【近郊案内】	大阪市と附属病院の近郊	大阪歯科大学	近藤 淳史	20
【新会員挨拶】	趣味は放射線？	岡山大学	梶崎 創太	21
	「二度目」の自己紹介	徳島大学	池光 大貴	22
	自己紹介	鶴見大学	柴崎 希寧	23
	自己紹介	北海道大学	小田 まこと	24
	はじめまして	北海道医療大学	谷尾 倫志	25
	自己紹介	日本歯科大学新潟	根岸 翼	26
	自己紹介	神奈川歯科大学附属横浜クリニック	長藤 輝	27
	新しい環境での学びと休日の楽しみ	愛知学院大学	清水 孔星	28
	退職後の夢 ～グアムと日本での二拠点生活～	日本大学	富里 謙一	29
	自己紹介	日本大学	白井 理子	30
【企業製品紹介】	臨床現場のニーズに応えるアーチファクト低減技術とマルチポジション CT	キヤノンメディカルシステムズ株式会社	佐藤 靖朋	31
【役員会報告】				35
【連絡協議会規約】				39
【投稿規程・会員情報の変更について】				41
【今後の関連学会予定】				42
【編集後記】		鶴見大学	宇田川 孝昭	43

【 巻頭言 】

時には昔の話を アナログ撮影の思い出

明海大学
石澤 博和

私事ながら昨年、医学教育等関連業務功労者に選ばれました。私は受賞時 55 歳ですが、受賞者の中では若い部類でした。病院に補助として働きながら専門学校に通い資格を取る前から籍が有ったからかもしれません。賞を授与するにはまだ若輩でしたが、周りを振り返るともうそうでもないようで、自分の当たり前が若い技師に通じないことも出てきました。そんなことを感じた時の今回の巻頭言の依頼でしたので、少々昔の本院のアナログの話をしようと思います。(先輩方には何若造が、と言われそうですが)

私が放射線科に入って初めて感じたのは、お酢の匂いでした。その時はまだ学校に入学する直前でしたので、その匂いが定着液の酢酸の匂いで、後に掃除の度にむせることになるとはその時は知る由もありませんでした。

最初の業務は主に現像業務でした。当時は全部の撮影がアナログでしたので現像作業だけでも人手のいる作業でした。デンタル用と一般用の自動現像機(自現機)があり一般用フィルムは暗室での作業でした。その現像では暗室にこもって受け渡し用の小さな箱から重たいアルミのカセットを手探りで開けて、名前を入れてオートフィーダー付きの現像機に入れる。(手書きの名前を写真の理屈で入れる機械が有った) 1 枚 1 枚吸盤で吸い上げられ送られる音がやたら賑やかで少し怖くもありました。

暗室作業は他にフィルムの複写がありました。アナログの複写は複写専用フィルムをオリジナルと重ねて下から光を当てつくります。このフィルムは普通のフィルムと違って光が当たった所が抜けるものでした。感光時間を調整することによって濃度を調整することもできました。

CT や MRI はまだ無い時代、埋伏歯などはアナログの断層撮影装置を使用していました。管球とフィルムを連動して動かし、動かない標準面だけを映し出す撮影です。我が院では直線軌道断層装置と円軌道の断層装置が入っていました。私が入った時、実働していたのは自動でフィルムを送ることのできる直線断層でした。直接スケールを当て外から目的部位を予測して 1 層ずつ撮影する。大きな管球がガガガと大きな音を立てて弧を描く。モニター画面などなくフィルムに直接陰影を焼き付ける。大量のフィルムが重たいマガジンカセットの中に送られ暗室に持っていくのも重労働でした。時間がかかるため患者が動いてしまうこともしばしばありました。これは CT の導入とともにオーダーは減っていきました。

円軌道の断層装置は直線断層より古くカセットを装着するタイプでしたので、連続で断層面を変えることができませんでしたのでしばらく埃を被っていましたが、一時期、顎関節撮影などに使用していました。多層断層用カセットなるものを使用して一度の曝射で 5 層の断層域をまとめて撮影できました。オルソパントモの顎関節撮影モードが入る前はこちらを活用していました。

現在、日本の歯科大で唯一アナログフィルムでデンタル撮影している明海大学ですが、今年電子カルテの導入に伴っていよいよ動く模様です。このデンタル用自現機が無くなればわが放射線科からも独特のお酢の匂いがしなくなることでしょう。それは有難い話なのですが、少しだけ寂しい気分にもなります。

全国歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師連絡協議会
調査・研究費助成制度のご案内

会長 辰見 正人

全国歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師連絡協議会では、平成26年度から会員を対象に研究活動を支援する事業を展開していきます。

調査・研究費を助成し会員の活発な研究活動を支援することを目的としております。日本放射線技師会、日本放射線技術学会、日本歯科放射線学会、全国歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師連絡協議会等で発表していただける方、下記の要領を確認していただき多数のご応募をお待ちしています。

[目的]

会員の活発な研究活動を支援し、広く研究成果を公表することにより成果を共有する。会員の人材育成を行い事業の活性化を推進する。

[方法]

申請書を記入の上、メール添付にて学術委員長宛申し込みを行う。

[対象]

全国歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師連絡協議会会員であること。

[助成]

一研究あたり6万円を上限として助成する。
研究代表者に総会時に助成金を渡す。

[研究成果報告]

翌年の全国歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師連絡協議会研修会で発表報告し、研究成果報告を誌上にて行うこと。

[申込締切り]

毎年5月末

[その他]

締め切り後、学術委員会の審議後幹事会の審査を経て一ヶ月以内に申請者に通知する。
申し込みフォームは、連絡協議会HP 会員ページからダウンロードすること。

[申込先]

学術委員長 吉田 豊 (純真学園大学)
E-mail: yoshida.y@junshin-u.ac.jp

全国歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師連絡協議会
奨励賞のご案内

会長 辰見 正人

全国歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師連絡協議会では平成26年度から会員を対象に、国際学会、日本放射線技師会、日本放射線技術学会、日本歯科放射線学会、全国歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師連絡協議会等で口頭発表または論文発表された方、社会貢献活動をされた方の中で、特に優秀であった方を奨励賞として総会時に表彰いたします。

全国歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師連絡協議会奨励賞 内規

平成26年7月14日作成

2021年6月 3日改訂

[目的]

会員の歯科放射線技術の意識向上のため学会等での発表ならびに論文や著書の執筆等の学術活動をされた方や、社会貢献活動をされた方の中から、特に優秀と認められた方に奨励賞を授与する。

[申請方法]

自薦・他薦は問わず申請書を記入の上、メール添付にて学術委員長宛申し込みを行う。
なお、申請書は連絡協議会HP 会員ページからダウンロードすること。

[対象]

全国歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師連絡協議会会員であること。

[応募締切り]

毎年1月末

[選考]

申請書を学術委員会で審議し、役員会に推薦された奨励賞候補者を、毎年2月に開催される役員会で審議し決定する。
奨励賞は、今後の活躍が期待される人に贈る賞であるため、同一者の受賞は2回までとする。

[奨励賞受賞講演]

全国歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師連絡協議会技術研修会で受賞発表を行う。

[申込先]

学術委員長 吉田 豊（純真学園大学）

E-mail: yoshida.y@junshin-u.ac.jp

全国歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師連絡協議会
2026年度 総会・歯科放射線技術研修会プログラム

開催日 : 2026年6月27日(土)、28日(日)
開催校 : 大阪歯科大学
会場 : 大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター) 特別会議室
〒540-0008 大阪府大阪市中央区大手前1-3-49 5階
TEL 06-6910-8500 (ドーンセンター)
TEL 06-6910-1074 (大阪歯科大学附属病院 中央画像検査室)
参加費 : 7,000円(会員:不課税、非会員:税込み)(学生:無料)
情報交換会費 : 3,000円(税込み)
年会費 : 10,000円(特例施設5,000円、個人会員4,000円)(不課税)

* 参加費、情報交換会費は事前に下記口座へお振込みください
振込手数料はご負担ください

りそな銀行 垂水支店(店番号532) 普通預金 1669268

全国歯放技連絡協議会 2026年度 開催校代表&会計 近藤淳史

* 年会費は会場受付で徴収します

6月27日(土)

12:30 受付開始

13:00

2026年度 総会

- | | | |
|---------------------|---------------|---------------|
| 1. 開会の辞 | | 総合司会: 近藤 淳史 |
| 2. 会長挨拶 | | 会長: 辰見 正人 |
| 3. 総会議長、書記、議事録署名人選出 | | |
| 4. 総会議事 | | 議長: |
| 第1号議案 | 2025年度 事業報告 | 総務: 相澤 光博 |
| 第2号議案 | 2025年度 決算報告 | 会計: 坂本 彩香 |
| 第3号議案 | 2025年度 会計監査報告 | 会計監査: 似内 毅 |
| 第4号議案 | 役員改選 | 選挙管理委員: 稲富 大介 |
| 第5号議案 | 2026年度 事業計画案 | 会長: |
| 第6号議案 | 2026年度 予算案 | 会計: |
| その他 | | |
| 5. 閉会の辞 | | 総合司会: 近藤 淳史 |

2026年度 歯科放射線技術研修会

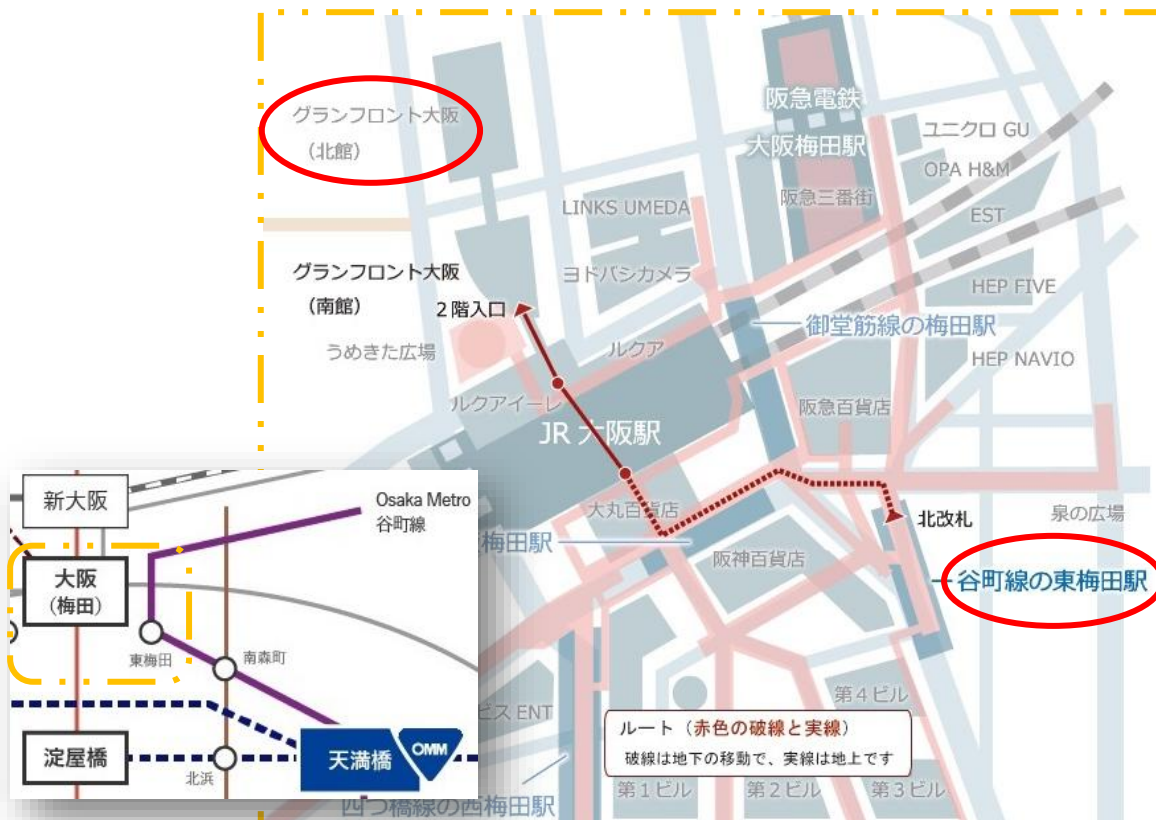
- 総合司会 近藤 淳史
- 13:50 来賓挨拶 大阪歯科大学 歯科放射線学講座 主任教授 有地 淑子 先生
- 14:00 特別講演 座長 辰見 正人
「歯科領域における AI 研究の現状および頭頸部領域の画像診断」
大阪歯科大学 歯科放射線学講座 主任教授 有地 淑子 先生
- 14:50 休憩
- 15:00 研究報告 I 座長 寶部 真也
「新規導入した歯科用 CBCT における画質の基礎検討」 東北大学 佐藤 由佳
「口内法 X 線撮影における撮影条件の再検討」 鶴見大学 奥山 祐
「パノラマ X 線撮影装置の線量評価における計測誤差の検証」
神戸常盤大学 学生 飯田 愛琉
- 15:45 休憩
- 15:55 教育講演 I 座長 三島 章
「読影の補助の充実を目指して」
大阪歯科大学 歯科放射線学講座 准教授 秋山 広徳 先生
- 16:45 写真撮影
- 18:00 情報交換会
世界のビール博物館 (大阪駅 (梅田駅))
大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪 北館 地下 1 階 TEL 095-846-2277

- 6月28日 (日)** 総合司会 近藤 淳史
- 9:30 教育講演 II 座長 富里 博
「明日からやってみたい、頭頸部領域の MRI 撮像技術」
フィリップス・ジャパン 宅見 寿輝
- 10:20 休憩
- 10:30 アンケート結果報告 座長 吉田 豊
「診療放射線技師養成施設に在籍する学生の進路選択
および歯科放射線領域に対する意識調査」 神戸常盤大学 寶部 真也
- 11:00 研究報告 II 座長 吉田 豊
「Compressed SENSE と SENSE における
Reduction Factor 変化による画質特性」 大阪歯科大学 財家 俊幸
「口内法エックス線撮影装置における表面汚染の定量評価」
大阪歯科大学 寺島 秀
- 11:30 次回開催校挨拶 日本大学 里見 智恵子
- 11:35 閉会の挨拶 副会長：富里 博
- 12:00 病院見学 (希望者のみ)



情報交換会場アクセス

情報交換会 世界のビール博物館 グランフロント大阪 北館 地下1階 (06-6371-6968)



【 教育講演 】

読影の補助の充実を目指して

大阪歯科大学 歯学部
歯科放射線学講座 准教授 秋山 広徳

厚生労働省医政局長の通知^{1,2}により、診療放射線技師による“読影の補助”が明文化されました。今後チーム医療におけるタスク・シフト/シェアが推進され、診療放射線技師による“読影の補助”がますます必要とされると思われます。一方、診療放射線技師の皆様の目標は、“最小限の侵襲で読影可能な画像の提供”でしょうか。ここでも読影可能な画像を提供するために“読影”に関する知識を深めることは意味のあることではないでしょうか。

読影は、画像診断ともいわれます。定義は議論があります。私見では、狭義的には“医用画像から異常を指摘し、考えられる疾患を指摘すること”。一方、広い意味では、“病歴と身体所見により得られた臨床診断の評価を行い、今後の診断や治療方針決定に資する一つ的手段”と考えています。

“読影の補助”に関して理解を深めるためには、診断の全体像を把握し、その一手段として画像診断をとらえるのも有意義なことではないでしょうか。そこで自分の学生時代の教科書を引っ張り出し、診断に至るプロセスと一緒に復習していきたいと思ひます。診断一般について、皆様と情報を共有し、議論を深めることはチーム医療の一環として有意義であると考えます。

参考文献

1. 厚生労働省（医政発 0430 第 1 号）：医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について
2. 厚生労働省（医政発 0930 第 16 号）：現行制度の下で実施可能な範囲におけるタスク・シフト/シェアの推進について

【略歴】

鹿児島大学歯学部卒業

大阪大学大学院歯学研究科修了

日本歯科放射線学会専門医

【 教育講演 】

明日からやってみたい、頭頸部領域の MRI 撮像技術

株式会社フィリップス・ジャパン

PD Clinical Application Specialist

宅見 寿輝

MRI は組織コントラストに優れており、頭頸部領域においても悪性腫瘍や顎関節疾患を中心に、その有用性は広く知られている。しかし MRI は動きに弱く、頭頸部領域では体動に加え、嚥下、呼吸、血流などに起因するアーチファクトが問題となることが多い。本講演ではこれらの課題に対し、撮像パラメータの調整によって実施可能な対策について解説する。

さらに近年、AI 技術をはじめとする MRI の技術革新は目覚ましい進展を遂げている。本講演では、こうした技術進歩を踏まえた最新の撮像技術と、実臨床における撮像の工夫について、症例を交えながら紹介する。

The logo for JOIRT (Japan Oral and Maxillofacial Imaging and Radiation Therapy) features the letters 'JOIRT' in a bold, black, sans-serif font. The letter 'O' is replaced by a stylized, three-dimensional sphere with overlapping, semi-transparent gray bands, suggesting a globe or a complex geometric shape.

【 特別講演 】

歯科領域における AI 研究の現状および頭頸部領域の画像診断

大阪歯科大学 歯学部
歯科放射線学講座 主任教授 有地 淑子

人工知能 (AI) は驚異的なスピードで進化を続け、医療分野へも適応されるようになった。2006 年にジェフリー・ヒントン氏らにより発表されたディープラーニング (深層学習) は、自ら学習する推論モデルであり、これにより画像認識の性能が飛躍的に向上した。この技術の出現に端を発して、第三次 AI ブームがおり、社会実装も進んだ。この功績により、ヒントン氏らは 2024 年ノーベル物理学賞を受賞した。2022 年頃から「生成 AI」の急速な普及により、現在は第 4 次 AI ブームに入ったとも言われている。本講演では、歯科領域における AI 研究の現状および頭頸部領域の画像診断を紹介する。

AI を支える基幹技術について解説する。ディープラーニングは、機械学習にニューラルネットワークの技術を応用して開発されたもので、ニューラルネットワークを多層構造にして、特徴量を指定しなくても、大量のデータから規則性や判断基準を自動的に見つけ出すことができる。ディープラーニング技術の進歩により、画像認識の性能は飛躍的に向上した。画像分類、物体検出、領域抽出など、認識 AI モデルの詳細、学習のワークフローおよびモデルの評価方法を解説する。

生成 AI は、プロンプトと呼ばれる指示に従って、画像、動画、文章、音声、コンピュータプログラミングコード、もしくはこれらの組み合わせを生成する。こうした生成 AI の基盤となっている技術が大規模言語モデル (LLM) である。LLM は自然言語処理に特化したモデルで、膨大なテキストデータから学習することでより高度な言語理解を実現したもので、OpenAI 社の ChatGPT や Google 社の PaLM などが代表例である。画像生成 AI として、敵対的生成ネットワーク (GAN) や Stable Diffusion を紹介する。

AI の撮影支援、読影支援、放射線治療支援、教育支援などの適応例を紹介し、AI 搭載の歯科医療機器についての情報も提供する。

大阪歯科大学歯学部歯科放射線学講座
主任教授 有地 淑子



【略歴】

1986年3月 九州大学歯学部卒業
1986年4月 九州大学歯学部歯科放射線学講座 研究生
1986年7月 九州大学歯学部附属病院歯科放射線科 医員
1991年4月 九州大学歯学部歯科放射線学講座 助手
1993年4月 長崎大学歯学部歯科放射線学講座 助手
1996年5月 愛知学院大学歯学部歯科放射線学講座 非常勤講師
1998年3月 愛知学院大学歯学部歯科放射線学講座 助手
1999年1月 愛知学院大学歯学部歯科放射線学講座 講師
2007年5月 ハーバード大学マサチューセッツ眼耳鼻科病院放射線科 在外研究留学
2014年2月 愛知学院大学歯学部歯科放射線学講座 准教授
2021年9月 大阪歯科大学歯学部歯科放射線学講座 教授
現在に至る

本講演を通して、頭頸部MRIにおける画質最適化のための技術的ポイントを整理するとともに、今後の臨床応用に役立つ知見を共有したい。

【 アンケート結果報告 】

診療放射線技師養成施設に在籍する学生の 進路選択および歯科放射線領域に対する意識調査

神戸常盤大学
寶部 真也

近年、診療放射線技師の養成校は増加傾向にあり、厚生労働省の研究班の推計では2028年～2030年代には技師の需給バランスが供給過剰に転じると予測されている。しかしその一方で、高度な専門性が求められる歯科大学や歯学部附属病院などの特定の領域においては、慢性的な人材難に直面しているという労働市場のミスマッチが生じている。

このミスマッチの一因として、養成校の座学や臨床実習において歯科放射線領域に触れる機会が少なく、学生が具体的な業務内容について十分な情報を得る機会が限られていることが考えられる。また、多くの学生は卒業後の最初の進路として大規模な総合病院等を志向する傾向があり、歯科のような特定の専門領域を選択肢として検討する土壌が十分に形成されていないことも推測される。さらに、主要な職能団体と比較して専門団体の活動を認知する機会が少ないことも、関心が及びにくい要因の一つと考えられる。

そこで本研究は、診療放射線技師を目指す学生を対象に、進路選択に関する全体的な意識調査を行うとともに、歯科放射線領域および専門団体に対する認知度・関心度を明らかにすることを目的とした。

調査対象は、専門団体の役員が在籍する養成校の学生（主に就職活動や臨床実習を控えた3・4年生）とした。本調査は、Webアンケートシステムを用いた無記名の質問紙調査として実施し、学生の基本属性をはじめ、卒業後の進路選択における重視項目、歯科放射線領域に関するイメージ、および特定の専門団体の認知度等についてデータを収集・分析する。

本調査から得られる知見は、特定の専門領域における人材確保に向けた効果的な情報発信のあり方を検討する材料とするほか、養成校における進路指導時の参考資料として提供することで、学生がより多様な選択肢の中から後悔のない進路選択を行うための一助としたい。

本調査の結果は、当日報告する。

【 研究報告 】

新規導入した歯科用 CBCT における画質の基礎検討

東北大学
佐藤 由佳

【背景】

歯科用 CBCT は歯科・口腔外科領域において広く用いられており、三次元的な形態評価や治療計画に不可欠な画像診断装置である。近年、歯内療法や小児歯科領域などにおいて、限局した部位の詳細な形態評価を目的とした撮影ニーズが増加している。これに伴い、必要最小限の範囲で撮影を行う小撮影領域（Field of view : FOV）撮影の重要性が高まっている。

さらに、2025 年 5 月に新規導入した CBCT 装置へ移行し、再構成関数の選択肢が増加したことにより、撮影条件の自由度が拡大した。一方で、標準 FOV である $\Phi 60 \times H 60 \text{ mm}$ ($60 * 60 \text{ mm}$) と小 FOV である $\Phi 40 \times H 40 \text{ mm}$ ($40 * 40 \text{ mm}$) における画質特性については十分に検討されていない。

【目的】

本研究では、標準 FOV である $60 * 60 \text{ mm}$ を基準とし、FOV $40 * 40 \text{ mm}$ への縮小および再構成関数が画質特性に与える影響を定量的に評価することを目的とした。

【方法】

歯科用 CBCT 装置を用い、FOV $60 * 60 \text{ mm}$ および $40 * 40 \text{ mm}$ の条件で撮影を行った。画質評価には SedentexCT IQ ファントムを使用し、空間分解能およびノイズ特性を評価した。空間分解能はワイヤ法により Modulation Transfer Function : MTF を算出し、ノイズ特性は均一領域を用いた Noise Power Spectrum : NPS の解析を実施した。再構成関数は複数条件で比較した。

【使用機器】

頭部用 X 線 CT 装置 3D Accuitomo (モリタ製作所)

使用再構成関数 : G001 , G105+H009 , G003+H010 , G003+H004 の 4 種

SedentexCT IQ ファントム (Leeds Test Objects)

CT measure ver.0.99H6 (日本 CT 技術学会)

【結果】

FOV $60 * 60 \text{ mm}$ において、装置メーカー推奨再構成関数である G105+H009 の MTF は、4 種の再構成関数の中でもっとも低かった。他の 3 種は同程度であった。 $40 * 40 \text{ mm}$ は $60 * 60 \text{ mm}$ と比較して空間分解能の改善傾向を示した。

一方、再構成関数の選択によりノイズ特性は大きく変化した。FOV $60 * 60 \text{ mm}$ において、再構成関数 G003+H010 と G003+H004 はノイズが多く、G105+H009 の 2 倍程度であることがわかった。G001 はもっともノイズが少なかった。

歯科用 CBCT の撮影条件最適化には、対象部位および診断目的に応じて FOV と再構成関数を適切に組み合わせる必要がある。

【 研究報告 】

口内法 X 線撮影における撮影条件の再検討

鶴見大学
奥山 祐

【共同研究者】

三島 章	鶴見大学歯学部附属病院 画像検査部
五十嵐千浪	鶴見大学歯学部 口腔顎顔面放射線・画像診断学講座
若江五月	鶴見大学歯学部 口腔顎顔面放射線・画像診断学講座
伊東宏和	鶴見大学歯学部 口腔顎顔面放射線・画像診断学講座
枝 卓志	鶴見大学歯学部 口腔顎顔面放射線・画像診断学講座
小林 馨	鶴見大学歯学部 口腔顎顔面放射線・画像診断学講座

【目的】

2016年、2019年の研究報告で、当院の口内法 X 線撮影における標準体格成人患者の撮影線量は、すべての撮影装置、すべての撮影部位において診断参考レベル (Diagnostic Reference Level ; DRL) より低い値 (DRL 値の 0.32~0.68 倍) であることを報告した。また、乾燥頭蓋骨ファントムを撮影した画像の視覚評価を行い、自施設の撮影線量の妥当性を検討した。これらはいずれも当時の DRL 値および撮影装置、IP 読み取り装置についての検討であり、DRL が改訂され、装置を更新したことから、診断に適した画質を確保した上で線量をどこまで低減できるかを改めて検討した。

【方法】

臨床で最も使用頻度が高い口内法 X 線装置 ALULA-TS (朝日レントゲン工業株式会社) を用いてファントムを撮影し、得られた画像の視覚評価を行った。成人の乾燥頭蓋骨に厚さ 30 mm のエポキシ樹脂を付与した自作ファントムの上下顎前歯部、犬歯部、小白歯部、大白歯部の計 8 部位を撮影した。管電圧、管電流を一定とし、撮影時間のみを変更した。受像器には YCR イメージングプレート (IP) 標準型 DT-1 (株式会社吉田製作所) を用い、IP 読み取り装置 arcana mira (アレイ株式会社) の標準モードで読み取った画像を画像診断用モニター (EIZO 株式会社) に表示した。

画像の評価者は日本歯科放射線学会専門医 5 名とした。評価者には画像をランダムに提示し、輝度、コントラストの調整は自由とした。各画像のエナメル象牙境、歯髓腔、歯根膜腔、歯槽硬線、歯槽頂縁部歯槽骨の正常解剖構造が診断に適した画質かどうかを、3 : 診断に十分な画質、2 : 診断可能、1 : 診断には不十分、の 3 段階で評価した。その結果から、各撮影部位の低減可能な照射時間を求めた。

当該口内法 X 線装置について、照射時間を変えて入射空気カーマ (incident air kerma ; IAK, $K_{a,i}$) を測定した。半導体検出器 ThinX Rad (RaySafe 社) を用いて各条件につき 3 回測定して平均値を求め、各撮影部位の低減可能な撮影線量を最新の DRL 値と比較した。

【 研究報告 】

パノラマ X 線撮影装置の線量評価における計測誤差の検証

神戸常盤大学
飯田 愛琉 (学生)

【共同研究者】

倉本 卓	神戸常盤大学保健科学部	診療放射線学科
市川 尚	神戸常盤大学保健科学部	診療放射線学科
寶部 真也	神戸常盤大学保健科学部	診療放射線学科
辰見 正人	九州大学病院医療技術部	放射線部門
八木 孝和	神戸常盤大学保健科学部	口腔保健学科
筑井 徹	九州大学大学院歯学研究院口腔顎顔面病態学講座	口腔画像情報科学分野

【背景・目的】

パノラマ X 線撮影の線量指標である面積線量や線量幅積は、一般的に半導体線量計や 100 mm 長の電離箱線量計を用いて測定する。しかし、パノラマ X 線撮影のビーム幅は横幅が小さいことから、線量計を設置する際の不確かさが実測値に影響を与える可能性がある。また、ビーム高さ方向の測定位置は X 線焦点と同じ高さが推奨されているが、焦点位置を正確に特定することは困難であり、測定時上の大きな課題となっている。そこで本研究の目的は、パノラマ X 線撮影装置における線量計を設置する際の不確かさ、およびビーム高さ方向における検出器の配置誤差が測定値に及ぼす影響を定量的に検証することである。

【方法】

歯科パノラマ X 線撮影装置（ソリオ Xz II maxim、株式会社朝日レントゲン工業）の検出器側の照射野中心の位置に半導体線量計および 100 mm 長の電離箱線量計（RaySafe X2 R/F sensor; CT sensor, Unfors RaySafe AB）を配置し入射空気カーマおよび線量幅積を測定した。撮影条件は、管電圧 80 kV、管電流 8 mA、照射時間 12 sec に設定した。測定は、3 名が独立して線量計を配置し直しながら計 3 回ずつ行った。また、本測定を 3 日分繰り返し実施した。データ取得後、測定者間および日間における測定値の変動係数（CV）を算出した。次に、100 mm 長の電離箱線量計を照射野中心から高さ方向に±6 cm（1 cm 間隔）ずらしながら配置し、同様の撮影条件で線量幅積を測定した。データ取得後、照射野中心の測定値を基準とした各高さの測定値の変化量を算出した。

【結果】

測定者および測定日の違いにおける CV は、半導体線量計で 1.0%、100 mm 長の電離箱線量計で 0.1%であった。また、線量幅積は照射野中心から離れるにつれて低下する傾向にあり、最大で約 10%の違いを認めた。

【結語】

半導体線量計と 100 mm 長の電離箱線量計の設置精度は測定値に概ね 1%以下の影響を与えた。また、X 線ビーム高さ方向の違いにより線量幅積は約 10%変化した。焦点高さは照射野中心よりも低い位置にあることが多いため、特に高さ方向の違いが測定値に与える影響について理解したうえで線量測定を行う必要がある。

【 研究報告 】

Compressed SENSE と SENSE における Reduction Factor 変化による画質特性
大阪歯科大学
財家 俊幸

【目的】

当院では 2022 年に 3T MRI 装置へ更新し、Compressed SENSE (CS) が使用可能となった。CS は撮像時間短縮および画質向上を目的として広く用いられているが、従来の SENSE と比較した場合のノイズ特性や画質評価指標の解釈には課題がある。本研究では、CS と SENSE における SNR およびノイズ特性 (Noise Power Spectrum : NPS) の違いを明らかにすることを目的とした。

【方法】

3T MRI 装置を用い、均一ファントムに対して T2 強調画像を撮像した。reduction factor (RF) を 1~6 まで変化させ、SENSE および CS それぞれについて同一条件下で 5 回撮像を行った。取得した画像から差分法により標準偏差 (SD) を算出し SNR を求めた。また、ノイズ特性評価として NPS を算出した。これらの結果から、CS と SENSE の画質特性を比較検討した。

【 研究報告 】

口内法エックス線撮影装置における表面汚染の定量評価

大阪歯科大学
寺島 秀

【背景・目的】

診療放射線技師が日常的に行う口内法エックス線撮影は、検出器を口腔内に挿入する手技の特性上、装置および周辺環境が唾液等による汚染を受けやすい。複数部位を連続撮影する際、同一手袋での操作により汚染拡散リスクが高まるが、目視による確認は困難である。本研究では、ATP 生物発光法を用いて撮影装置各部位の汚染状態を定量的に評価し、患者間清掃における重点清拭箇所を明確化することを目的とした。

【方法】

歯科医師 1 名・診療放射線技師 1 名（撮影者 A・B）による模擬撮影を実施した。測定対象は、撮影者が頻繁に接触する 5 箇所（ヘッド、コーン、アーム、ヘッドレスト・ストッパー、照射スイッチ・操作パネル）とした。ATP 測定にはルミテスター PD-20（キッコーマン®）および専用試薬（ルシパック A3 Surface、キッコーマン®）を使用し、相対的発光量（RLU）で評価した。判定基準はメーカー推奨値を参考に、350 未満を清浄、350～700 を要注意、701 以上を汚染と設定した。測定時点は環境クロス清拭後（ベースライン）、1 回撮影後、10 回撮影後の 3 時点とし、各時点で 2 回測定を実施し、その平均値を解析に用いた。

【結果】

ベースラインでは全箇所でも低値を示した。撮影者 A（平均 RLU：ヘッド 202、コーン 156、アーム 368、ヘッドレスト・ストッパー 286、照射スイッチ・操作パネル 192）、撮影者 B（ヘッド 204、コーン 294、アーム 303、ヘッドレスト・ストッパー 346、照射スイッチ・操作パネル 176）。1 回撮影後、撮影者 A ではヘッドレスト・ストッパーが 829 と汚染基準を超過し、アームも 680 と要注意上限付近に達した。撮影者 B ではヘッドレスト・ストッパーが 806 と汚染レベルとなり、その他 4 箇所も全て要注意レベルを示した。10 回撮影後、撮影者 A はヘッドレスト・ストッパー 1172・アーム 997 が汚染レベルに達し、その他は要注意レベルであった。撮影者 B は全 5 箇所が汚染レベルとなり、ヘッドレスト・ストッパーは 1723 と最高値を示した。両撮影者でヘッドレスト・ストッパーは 1 回後から汚染基準を超過し、最も高い汚染値を示した。

【まとめ】

口内法エックス線撮影装置は、目視では確認困難な有機物汚染が撮影回数とともに蓄積する傾向がみられた。撮影者間での汚染度の差異は、操作手順・習慣の違いを反映している可能性が考えられた。ATP 値は感染性微生物の存在を直接示すものではないが、表面衛生状態の指標として有用であり、診療放射線技師が可視化されたデータに基づき患者間清掃方法を整備することの重要性が示唆された。特にヘッドレスト周辺は 1 回の撮影後から高い汚染値を示す高頻度接触部位であり、優先的な清拭対象として位置づけることが望ましいと考えられる。

【施設紹介】

大阪歯科大学附属病院

大阪歯科大学
近藤 淳史

大阪歯科大学は、1911年12月に現在の大阪市福島区野田に藤原市太郎氏が有志の歯科医師らの協力を得て創立した大阪歯科医学校を起源とし、1913年10月には附属病院が開設されました。

「学校経営事業は営利に非ず、博愛公益のために努力するものなること」という藤原氏の言葉が今日に至るまで建学の精神として受け継がれています。

その後、1917年9月に大阪歯科医学専門学校へと名称を変更し、1947年6月には大阪歯科大学（旧制大学）へと昇格しました。

1952年2月には、大阪歯科大学（新制大学）として歯学部を設置、1961年4月には大学院歯学研究科（博士課程）を設置しました。

1997年4月には、樟葉新学舎への移転および天満橋学舎にて現在の大阪歯科大学附属病院が建設されました。

2011年には創立100周年を迎えました。

2017年4月には、医療保健学部口腔保健学科および口腔工学科を創設し、歯科衛生士および歯科技工士の4年制教育を開始し、2024年4月には、新たに看護学部が開設されました。

大阪歯科大学は1911年の創立以来、「博愛」と「公益」の建学の精神のもと、歯科医学教育・研究・臨床の道を邁進してきました。その中で、本学附属病院は臨床教育、先進医療、そして地域の皆さまへの医療を通じての貢献、という三つの使命を帯び、今日まで変わらずその任を果たし、大阪の街の医療の拠点として、地域に根ざした大学病院として、皆さまの健康増進と長寿への貢献を目指しております。



大阪歯科大学附属病院は、保存修復科、歯内治療科、歯周治療科、補綴咬合治療科、高齢者歯科、口腔外科、矯正歯科、小児歯科、特別支援歯科、歯科麻酔科・ペインクリニック、口腔インプラント科、口腔リハビリテーション科、総合診療科および歯科放射線科・中央画像検査室の歯科各科と、内科、耳鼻咽喉科および眼科の合計 17 診療科を有する関西における総合歯科医療センターとしての役割を担うべく、患者さんの病に共感し、あたたかい医療を提供しております。

また当院は人間性豊かな、すぐれた歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士および看護師を育成する医療人の教育機関であるとともに、疾病により損なわれた口腔の機能と審美性の回復、さらに維持、向上させることを目的に安全・安心な先進的歯科医療の提供と日々の臨床に直結した研究を行っております。

現在、中央画像検査室には診療放射線技師が 4 名在籍しており、歯科各科と医科の検査に携わっています。すべての技師が各検査モダリティを日々ローテーションしていますが、その中でも日々研鑽を積み、患者さんに安心・安全な診療・検査の提供に向けて邁進していきたいと思っております。

【中央画像検査室での使用装置の概要】

口内法 X 線撮影装置	ALULA-T	朝日レントゲン工業株式会社
パノラマ X 線撮影装置	Veraviewepocs X550	株式会社 モリタ製作所
頭部 X 線規格撮影装置	CX-150WA	朝日レントゲン工業株式会社
パノラマ・セファロ複合装置	SOLIO XD MAXIM	朝日レントゲン工業株式会社
顎関節 4 分割 X 線撮影装置	AUTO1000EX	朝日レントゲン工業株式会社
一般 X 線撮影装置	UD150L-40	株式会社 島津製作所
歯科用 CBCT 装置	3D Accuitomo F17D+	株式会社 モリタ製作所
	3DX Multi-Image Micro CT	株式会社 モリタ製作所
CT 装置	SOMATOM Scope	シーメンス・ジャパン(株)
MRI 装置	Ingenia Elition 3.0T S	(株)フィリップス・ジャパン
回診用 X 線撮影装置	IMC-1A	アールテック株式会社
X 線骨密度測定装置	DTX-200	オステオメーター社

【中央画像検査室の技師スタッフ】



【 近郊案内 】

大阪市と附属病院の近郊

大阪歯科大学
近藤 淳史

大阪歯科大学附属病院は大阪市の地下鉄 Osaka Metro 谷町線および京阪電車の天満橋駅の近くの天満橋学舎にあります。

天満橋は 1910 年に京阪電車の大阪側ターミナル駅として開業し、都市開発が進み、オフィスビルや商業施設が發展しています。毎年夏には日本三大祭りの一つである大阪天満宮の天神祭が開催され、歴史と文化を身近に感じることができます。その他、天満橋駅周辺では、大阪城公園・大阪城天守閣：大阪城の歴史を伝える文化財が展示されている博物館、大阪歴史博物館：「都市大阪の歩み」をテーマにした常設展示（壮麗な難波宮の様子が再現されている）、大阪水上バス：「アクアライナー」（大川を周遊し水上からの景色を楽しめる）、造幣局：貨幣ができるまでの過程を見学可能、等があり周辺では桜の季節に桜の通り抜けも楽しめます。

続いて、少し北の大阪駅周辺は「キタ」エリアと呼ばれています。

- ・梅田スカイビル・空中庭園展望台：地上 40 階建て 173m から大阪の街を 360 度見渡せます。
- ・グランフロント大阪：ショッピングやグルメを楽しめる大阪駅すぐそばにある複合施設。
- ・大阪ステーションシティ：大阪駅自体が商業施設でもある「街」のような存在。
- ・HEP FIVE 観覧車：真っ赤な特徴的な観覧車で、梅田のシンボルの一つ。

JR 大阪駅周辺では、大規模な再開発プロジェクトが進行中で、特に注目は JR 大阪駅西側の開発です。グラングリーン大阪（うめきた 2 期地区）は、「関西最後の一等地」とも呼ばれた梅田貨物駅跡地の開発プロジェクトで、商業施設「グラングリーン大阪 ショップ&レストラン」、研究開発施設「JAM BASE」、日本初進出ホテル「キャノピー by ヒルトン大阪梅田」や南街区に「ウォルドルフ・アストリア」、大規模オフィス、MICE 施設などが整備されます。全体のまちびらきは 2027 年度の予定です。「グラングリーン大阪」は、大阪梅田の新たなグルメスポット

としても期待されており、「タイムアウトマーケット大阪」や隠れ家レストラン、上質な空間の飲食店などが充実しています。



【 新会員挨拶 】

趣味は放射線？

岡山大学
梶崎 創太

はじめまして。岡山大学病院の梶崎創太（かじさきそうた）と申します。
この度、新会員となりましたのでインタビュー形式で自己紹介をさせていただきます。

Q. 技師歴と経歴を教えてください。

A. 技師歴は4年目となります。2023年4月に岡山大学病院へ入職し、現在に至るまで勤務しております。1年目では一般撮影やCT、OPEなどのモダリティを回り、2年目からは主に一般撮影室で医科・歯科撮影業務に従事しています。歯科領域の撮影は2年目以降に本格的に経験するようになり、日々新しい知識と技術を学びながら業務に取り組んでおります。

Q. 歯科の撮影で難しかったこと、楽しかったことを教えてください。

A. 歯科の分野は解剖や専門用語、検査方法など医科とは異なる点が多く、最初は覚えることが多く大変でした。しかし、先輩方にご指導いただきながら経験を重ねることで、徐々に撮影できるようになり、ミスなく一連の撮影を終えられたときには大きな達成感を感じています。また、歯科撮影は他のモダリティと比べ、より高い職人的な技術力が求められ、その技術には明確な到達点がなく、身につけた分だけ臨床的価値が積み重なっていく点が大きな魅力に感じており、日々のモチベーションにもつながっています。

Q. 地元の紹介をしてください。

A. 出身は徳島県です。毎年8月のお盆の時期に開催される阿波踊りには、国内外から多くの観光客が訪れます。鉦や太鼓、三味線の囃子に合わせて街中が一体となる光景はとても活気があるので、機会があればぜひ体験してみてください。

Q. 抱負を聞かせてください。

A. これからも知識や技術の習得に慢心することなく、日々の業務の中で様々なことに疑問を持ち、自ら調べ、時には実験などを通して確かめながら理解を深めていきたいと考えております。そうした積み重ねを趣味のように楽しみつつ臨床に還元し、医療の質向上に努めます。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。

はじめまして。徳島大学病院の池光大貴と申します。

私は 2010 年 3 月に徳島大学医学部保健学科を卒業し、同年 4 月より当院に勤務しております。一般撮影、CT、MRI、IVR といった医科領域で 11 年間の経験を積んだ後、2021 年 4 月より歯科放射線部門に配属となりました。当時は技師歴 12 年目にして、未知の領域へ新人として飛び込むような戸惑いもありましたが、早いもので歯科部門での業務も 5 年が経過いたしました。

配属当初、私が最も苦慮したのは、医科とは大きく異なる「口内法 X 線撮影」の特殊な原理とポジショニングの習得でした。口腔内という限られた空間にフィルムを固定する繊細な技術を身につけるため、ファントムを相手に練習を繰り返す日々を過ごしたことを鮮明に覚えています。その後、更に深く向き合うことになったのが、より難易度の高い小児患者の撮影業務でした。身体の動きや開口保持の難しさに加え、歯科特有の恐怖心をいかに和らげるかが大きな課題でした。数多くの症例を経験する中で、最短時間で最適な角度を導き出す技術はもちろん、患児の成長段階に合わせたコミュニケーションの重要性を痛感いたしました。現在では、若手の技師に対して、小児撮影のコツを伝達する役割を担っております。自身の失敗談も交えながら、「患者さんの心に寄り添う撮影」の重要性を説いています。

この 5 年間、現場で研鑽を積む中で実感しているのは、医科で培った知識と歯科特有の技術を融合させる重要性です。例えば、歯科用 CBCT において口腔内金属が引き起こすアーチファクトへの対応では、医科 CT での経験を活かし、撮影条件の工夫や適切なポジショニングによって関心領域を最適に描出することにこだわっています。歯科医師がより正確な診断を下せるよう、質の高い画像を提供することに大きなやりがいを感じています。

私事ではありますが、配属直後に経験した自身の齲蝕治療も無事に完了し、現在はメンテナンスのために定期的な歯科検診を欠かしません。一度、患者の立場を深く経験したことで、検査時にフィルムが粘膜に当たる痛みや、開口を維持する苦痛を自分事として捉えられるようになりました。その経験は、現在も声掛け一つ、角度の微調整一つに反映されており、私の技師としての揺るぎない原点となっています。

最後になりますが、5 年前の私は「精進して参ります」と結びました。その気持ちに変わりはありませんが、今はそれに加え、次世代への技術継承と、より高度なチーム医療への貢献という責任も感じています。歯科放射線という分野は、突き詰めるほどに奥深く、患者さんの QOL（生活の質）に直結する重要な領域です。これからも、研鑽を怠ることなく、患者さん一人ひとりに最適な医療を提供できるよう、一步一步着実に歩みを進めていく所存です。今後とも、どうぞよろしく願い申し上げます。

2025年5月より、鶴見大学歯学部附属病院に勤務しております柴崎希寧（しばざき ねね）と申します。よろしくお願ひいたします。

就職活動を始めた当初、私の中に“歯科領域の道に進む”という選択肢はありませんでした。しかし、病院見学に訪れた際、実際の画像を見せていただきながら「この画像から何が読み取れるのか」といった話を伺う中で、歯科放射線の奥深さに魅力を感じました。大学の授業では歯科領域を学ぶ機会が限られていたこともあり、どの話も新鮮で、1時間ほどの見学でありながら大変楽しく、有意義な時間だったことを今でもよく覚えています。このご縁をきっかけに「ここで働きたい、ここで学びたい」と強く思い、鶴見大学歯学部附属病院へ入職しました。

働き始めてからの毎日は不安と挑戦の連続でした。前述しましたように、大学で歯科領域を学ぶ機会がほとんどなかったため、まさにゼロからのスタートでした。特に口内法X線撮影に関しては基礎的な知識も乏しく、まずは理論を理解するところから始めました。先輩達の撮影方法を観察し、ファントムを用いて繰り返し撮影練習を行いました。いざ患者さんを前にすると、やはり思い通りにいかない場面が多くありました。歯とイメージングプレートの位置関係を想像しながら適切なX線入射角度を決めることの難しさを日々痛感しています。まだまだ課題は多いですが、助言をいただきながら一步步成長していきたいと考えております。

また、日々の業務の中で、特に心に残っている上司の言葉があります。それは「ただ撮影をこなすのではなく、何を求められているのか考えながら撮影する」ということです。私はつい撮影手技そのものに意識が向き、病名や患者さんの体形にかかわらずマニュアル通りの撮影方法や条件を選択していました。しかし診療放射線技師には、医師、歯科医師が必要としている情報を想像し、それに応じた撮影を行う姿勢が求められることを学びました。適切な判断を行うためには、疾患の特徴や画像所見を理解していることが不可欠であり、撮影技術のみならず臨床的な知識も深めていく必要があると感じています。この言葉を大切にしながら知識を身につけ、経験を積み重ねていきたいと思ひます。

少し余談にはなりますが、私の趣味はJリーグ観戦です。川崎市出身ということもあり、小学生の頃から川崎フロンターレを応援しています。父、母、妹の家族全員がフロンターレのサポーターで、ホーム戦では等々力競技場へ足を運び、アウェイ戦ではテレビの前から離れられないほど、家族そろって熱く応援しています。驚いたことに、等々力競技場は自宅よりも職場からの方が近いことに気がつき、平日は仕事帰りにそのまま観戦に向かうこともあります。スタジアムで選手の頑張りを間近に感じると、私も頑張ろうと気持ちが引き締まりますし、勝利した日には1日の疲れが吹き飛ばすほど嬉しい気持ちになります。観戦で得られるエネルギーを原動力に、日々の業務にも前向きに取り組んでいきたいです。

最後になりますが、歯科領域にはまだ私の知らない世界が数多く広がっていると思ひます。これからどのような景色が見えてくるのか、私自身とても楽しみです。その世界を一つ一つ発見していけるよう、日々努力を重ね成長していきたいです。今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。

はじめまして。北海道大学病院の小田まことと申します。1999年に入職し様々なモダリティを経験させていただきましたが、このたび縁ありまして歯科の領域に携わる機会をいただきました。それまでは人の歯が何本あるかもわからないド素人でした。皆様どうぞよろしく願いいたします。

私は口内撮影が苦手です。人の口の中をのぞく、口の中に手を入れる、という行為に抵抗がありました。慣れないうちは口内をしっかりと観察することが出来ず、結果的に再撮影の多い日々がつづきました。患者さんの口の中をのぞき撮影する歯を探すわけですが、1番から順番に数え「この歯だな」と狙いを定め、いざIPを口の中に入れようとしますが途中でどの歯かわからなくなったり、根尖が十分に写る位置までIPを入れることができなったり、とスムーズに撮影できませんでした。空間認識も苦手なようで、高確率でコーンカットしてしまいます。指導いただいた先輩技師には大変ご迷惑をおかけしていますが、都度的確にアドバイスをくれるのでとてもありがたいです。

しかし、久しぶりに新たなモダリティを研修できたことで、うまく撮影できなかったものが思い通り撮影できた時の達成感を久しぶりに味わうことができました。

顎骨や歯牙のVR作成において金属アーチファクトの除去がワンクリックで行えるようなAI技術の発展に期待しております。

【 新会員挨拶 】

はじめまして

北海道医療大学病院
谷尾 倫志

はじめまして。

このたび北海道医療大学病院放射線部に入職いたしました、谷尾倫志と申します。

これまで 20 数年間、脳神経外科を中心とした急性期医療の現場で、診療放射線技師として勤務してきました。忙しい現場ではありましたが、その分多くの経験を積むことができ、日々の業務を通して、基本を大切にすることや、周囲と協力しながら仕事を進めることの大切さを学んできたように思います。

家族の事情をきっかけに、これからの働き方や生活について考えるようになり、悩んだ末に転職という選択をしました。今回の転職に伴い、これまで慣れ親しんだ土地を離れ、新しい環境で仕事と生活をスタートさせています。

新天地では、天候や気候の違いに加え、車通勤から電車通勤へと生活スタイルが変わり、最初は戸惑うことも多くありました。入職当初は慣れないことばかりで不安を感じる場面もありましたが、周囲の職員の方々に支えていただきながら、少しずつ職場にも慣れてきました。1年近くが経った今では、落ち着いて業務に取り組めるようになり、日々やりがいを感じながら仕事に向き合っています。

歯科領域は未経験の分野ですが、分からないことがあればそのままにせず、一つずつ確認しながら覚えていくよう心がけています。これまでの経験を活かしつつ、新しいことにも前向きに取り組み、少しずつできることを増やしていきたいと考えています。

仕事以外では、家族と過ごす時間を大切にしています。最近はお子さんの影響もあり、エスコンフィールド北海道で野球観戦をする機会が増えました。観戦歴はあまり多くはありませんが、日本ハムファイターズの試合の雰囲気や、球場全体の一体感に魅力を感じています。良い気分転換にもなっており、いつかはシーズンシートオーナーとして通えたらいいな、というささやかな夢、楽しみもあります。

現在でも、まだ分からないことも多く、学ばせていただいている段階ではありますが、日々の業務の中で、声を掛け合いながら働ける関係を大切にしていきたいと考えています。

そして、少しでも職場に貢献できるよう努力していきたいと思っております。

今後ともどうぞよろしくお願いたします。

はじめまして、令和7年3月に大学を卒業し、5月から日本歯科大学新潟病院に入職いたしました根岸翼と申します。よろしくお願いいたします。

私は群馬県沼田市出身で、大学進学を機に新潟県へ移り住み、現在も新潟で生活しています。学生時代から放射線の技術について学び、臨床実習を通して医療現場で働く診療放射線技師の役割の重要性を実感しました。現在も先輩方からご指導いただきながら、日々の知識や技術を学び続けています。

診療放射線技師として入職し、10か月が経過しました。この10か月間、日々の業務を通して多くのことを学びながら経験を積むことができました。まだ至らない点も多くありますが、先輩方のご指導のもと、少しずつできることが増えてきたと感じています。主に口内法撮影、口外法撮影、頭部X線規格撮影、CT撮影、MRI撮影などの業務に携わっています。歯科領域特有の撮影である口内法撮影では、患者さんの負担をできるだけ軽減しながら適切な位置で撮影できるように意識しています。患者さんによってIPの挿入が難しい場合もあるため、声掛けやポジショニングを工夫しながら撮影を行うことの大切さを感じています。口外法撮影や頭部X線規格撮影においても、再撮影を減らし安定した画像を提供できるよう、日々撮影技術の向上に努めています。また、CT撮影では患者さんの体位や位置づけを正確に行い、診断に必要な画像を安定して提供できるように心がけています。歯科領域におけるCTは埋伏歯の評価などにも用いられるため、撮影の精度が非常に重要であることを日々実感しています。MRI撮影では、安全管理を十分に意識しながら検査を行うことの重要性を学びました。MRIは強い磁場を使用する検査であるため、金属の確認や患者さんへの事前説明など、安全に検査を行うための確認を丁寧に行うように心掛けています。また、患者さんが安心して検査を受けられるよう、検査中の声掛けや対応にも気を配るように努めています。

歯科領域の放射線検査は撮影の精度が診断に直結するため、ポジショニングや撮影条件のわずかな違いが画像に大きく影響することを日々実感しています。今後も知識と技術の向上に努め、患者さんに安心して検査を受けていただけるような丁寧な対応を心掛けながら業務に取り組んでいきたいと思っております。また、1つ1つの検査を大切にしながら、診療放射線技師としてさらに成長していきたいと考えています。

個人的な話になりますが、私は映画やドラマを見るのが好きです。大学時代、新型コロナウイルスの影響でオンライン授業がメインになり、家で過ごすことが多くなったことで映画やドラマを見る機会が多くなり、好きになりました。休日には映画やドラマを見てリフレッシュしています。しかし、つい長時間見てしまい運動不足になりがちで、体重の増加に悩まされています。そのため、これからは体を動かすような新しい趣味も見つけていけたらと思っています。もしおすすめの趣味などがありましたら、ぜひ教えていただけると嬉しいです。

最後になりますが、今後とも何卒よろしくお願いいたします。

【 新会員挨拶 】

自己紹介

神奈川県立歯科大学附属横浜クリニック
長藤 輝

皆様、初めまして。令和7年4月より、神奈川県立歯科大学附属横浜クリニックに勤務しております、長藤輝と申します。

入職してから早いもので1年が経ちました。日々の業務の中で、先輩方にご指導いただきながら、多くのことを学ばせていただいております。大学での講義では、深く触れることがなかった歯科領域の撮影ですが、実際の業務では戸惑うことや難しさを体感する場面も多くあります。今では、様々な特徴を持った患者様に対応する中で経験を重ね、状況に応じた撮影が少しずつできるようになってきたと感じております。

現在の課題として、小児・障がい者歯科の患者様の撮影があります。迅速かつ丁寧な撮影が求められる場面も多く、思うようにいかないこともあり、先輩方に助けていただくことも多々あります。また、嘔吐反射の強い患者様の撮影においてもスピードが求められるため、患者様への負担をできる限り軽減しながら撮影を行えるように、今後も一層努力していきたいと考えております。歯冠から根尖までしっかりと描出され、できるだけ平行な角度で撮影できたときの達成感は非常に大きく、嬉しさとともにやりがいを感じる瞬間でもあります。今後も多くの患者様に対応する中で経験を積み、より良い撮影を行える技師となれるよう努力してまいります。

余談にはなりますが、私は高校時代の友人とバンドを組んでおり「オルタナティブロック」というジャンルの音楽を制作しています。休日にはライブをしたり、音楽サイトに楽曲を配信したりなど、好きなことにも全力で取り組んでおります。ライブではベース、サブボーカルを担当しています。ベースといえば一般的に、目立たないポジションというイメージがありますが、私のライブでは楽しさのあまり体を大きく動かし演奏しているため、翌日の筋肉痛は避けられません。

最後になりますが、これからも仕事と休日のどちらにも全力で取り組み、充実した日々を過ごしていきたいと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。



【 新会員挨拶 】

新しい環境での学びと休日の楽しみ

愛知学院大学
清水 孔星

皆さま、初めまして。このたび、全国歯科大学・歯学部附属病院 診療放射線技師連絡協議会に入会させていただきました、清水 孔星と申します。現在、愛知学院大学歯学部附属病院にて歯科放射線領域の撮影業務を中心に、日々の診療に携わっております。入職してからの期間はまだまだ長くはありませんが、歯科放射線の奥深さと難しさを強く感じながら業務に取り組んでいます。

日常業務の中でも、特に苦勞したのが口内法 X 線撮影でした。患者さんごとに口蓋の深さや歯列弓の角度、歯軸の傾きが異なり、想像以上に繊細な技術が求められることを痛感しました。特に、初めの頃はフィルムの位置決めや角度調整に時間がかかり、思うような画像が得られず悔しい思いをしたことも多くあります。しかし、その都度先輩方から丁寧なご指導をいただき、撮影の意図や解剖学的理解を深めることで、少しずつ安定した画像を得られるようになってきました。今では、口内法 X 線撮影こそが歯科の放射線技師としての基礎であり、最も奥深い領域のひとつだと感じています。

私生活では、最近始めたボルダリングとプチ登山が趣味です。ボルダリングは職場の先輩に誘われて軽い気持ちで挑戦したのがきっかけでしたが、実際に登ってみると、壁に設定された課題をどう攻略するか考える面白さにすっかり魅了されました。最初は簡単な課題でも苦戦していましたが、通ううちに少しずつできる動きが増え、できる課題が増えていくのがボルダリングの面白さだと思います。

登山は、普段は標高の低い山をゆっくり歩く程度のプチ登山を楽しんでいます。自然の中をのんびり歩く時間は心が落ち着き、良い気分転換になっています。また、去年は職場の方々と大杉谷を訪れ、山小屋で1泊する機会がありました。普段の軽い登山とは違うため少し緊張もありましたが、渓谷の美しさや滝の迫力に触れながら歩く時間はとても楽しかったです。

まだまだ未熟ではありますが、技術の向上と知識の深化に努め、歯科医療に貢献できる診療放射線技師を目指してまいります。

今後ともご指導・ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



【 新会員挨拶 】

退職後の夢 ～グアムと日本での二拠点生活～

日本大学
富里 謙一

私は日本大学歯学部附属歯科病院の富里謙一と申します。これまで救命救急の現場で働き、多くの患者さんの命と向き合う日々を過ごしてきました。常に緊張感のある環境で経験を積んできましたが、現在は50代となり、新たな挑戦として歯科の領域へと歩みを進めています。これまでの経験を大切にしながら、新しい分野でも人の健康に関わる仕事を続けていきたいと考えています。

私の退職後の夢は、日本とグアムでの二拠点生活を実現することです。日本では四季の移ろいを感じながら、家族や友人との時間を大切に、穏やかな生活を送りたいと思っています。

一方、グアムでは、趣味であるランニングを楽しみながら、毎朝海辺を走り、朝日と潮風を感じて一日を始めたいと考えています。走り終えた後はビーチでのんびり過ごし、波の音を聞きながらゆったりとした時間を味わいたいと思っています。

時間に追われることなく、自分のペースで生きる。自然に囲まれながら心身を整え、穏やかな気持ちで毎日を過ごす。そんな生活を、日本とグアムという二つの場所で実現することが、私の退職後の大きな夢です。

最後になりますが、今後も志を大切に、誠実な姿勢で歯科医療の発展に貢献してまいります。どうぞよろしく願いいたします。



初めまして。2025年4月より日本大学歯学部附属歯科病院に入職しました、白井理子と申します。よろしくお願ひいたします。

これから働く職場を考えたとき、自分が歯科領域に進むことは全く想像していませんでした。就職活動を進める中で歯科病院という環境が選択肢にあがった際、初めは不安な気持ちが大きく、正直なところ迷いもありました。大学でも歯科分野について学ぶ機会はほとんどなく、身近にも歯科領域に進んだ人がいなかったためです。それでも、ご縁をいただいたこと、そして挑戦してみたいという思いが強くなり、この道を選びました。

働き始めてから、歯科領域の解剖や撮影方法など一から学ばせていただきました。特に口内法では、患者さんそれぞれで歯列などのさまざまな違いがあり、一人ひとりに合わせた撮影でなければうまくいかなかったり、嘔吐反射のある患者さんや小児撮影ではIPを上手く入れることができないこともあり、歯科領域の撮影の難しさやその奥深さを実感しました。

入職して1年が経ち、温かく優しい先輩方のご指導のおかげで、今も多くのことを学ばせていただいております。患者さん一人ひとりの違いに向き合いながら、まだ試行錯誤の毎日ではありますが、少しずつ適切な画像を撮影できるようになり、自分の成長を感じる場面も増えてきました。一方で、まだまだ一人前には程遠いと感じることも多く、これからも日々努力し続けていきたいと考えております。

なによりこのような環境の中で先輩方、先生方の温かさに助けられながら働けていることに、日々ありがたさを感じています。これからも周囲の方々への感謝の気持ちを忘れず、撮影技術や知識の向上に努めてまいります。

ここからは私の趣味についてお話をさせていただきます。最近の趣味はランニングで、仕事終わりに軽く走ったり、休日には少し長い距離を走ったりして楽しんでいます。小学生のころから大学まで陸上競技に取り組んでいたことや、父もランニングを趣味としていることがきっかけで、昨年徐々走り始めました。

学生の頃は短距離を専門としていたため、長い距離を走ることはあまり得意ではなかったし、いかに全速力で走り切るかという一瞬の勝負の世界で競技に取り組んでいました。しかし、陸上競技を離れてから久しぶりに走った際に、純粹に走ることの楽しさを実感しました。今年はフルマラソン完走を目標に走り続けていきたいと思っています。

最後になりますが、これからもご指導いただきながら診療放射線技師として日々精進して参ります。今後とも何卒よろしくお願ひいたします。

【 企業製品紹介 】

臨床現場のニーズに応えるアーチファクト低減技術とマルチポジション CT

キヤノンメディカルシステムズ株式会社

CT 営業部 佐藤 靖朋

●はじめに

X線 CT 装置はこれまで、「より広く」「より速く」「より高精細に」を指向した技術開発によって進化を遂げ、多くの臨床的価値を創出してきた。近年では、多様化する臨床ニーズに対応するため、装置のラインナップも多様化している。当社においても 16 列～320 列のマルチスライス CT をはじめ、大口径 CT、高精細 CT、さらには立位・座位撮影に対応したマルチポジション CT など、幅広い装置を展開している。一方で、CT 画像では装置構成や撮影条件、被写体条件などに起因してさまざまなアーチファクトが発生し、画質の低下や診断能に影響を及ぼす可能性がある。本稿では、当社における代表的なアーチファクト低減技術を概説するとともに、新たな撮影コンセプトとして開発されたマルチポジション CT について紹介する。

●CT 画像におけるアーチファクトの種類

CT 画像に生じるアーチファクトには多くの種類が存在する。代表的なものとして、X 線フォトン不足や透過長の差によるストリークアーチファクト、多色 X 線のエネルギー依存性に起因するビームハードニングアーチファクト、被写体の体動によって生じるモーションアーチファクト、さらには体内金属によるメタルアーチファクトなどが挙げられる。これらのアーチファクトは撮影部位や撮影条件によって発生形態が異なり、臨床画像の画質に大きく影響するため、各要因に応じた補正技術が重要となる。

1. ストリークアーチファクトおよびビームハードニングアーチファクトへの対応

ストリークアーチファクトは、主に X 線フォトン不足や透過長の差による X 線カウントの不均一性により発生するアーチファクトであり、肩部や骨盤部など高吸収領域を含む撮影で顕著となる。一方、ビームハードニングアーチファクトは、多色 X 線が高吸収体を透過する際に低エネルギー成分が吸収されることで実効エネルギーが変化し、再構成画像に歪みが生じることによって発生する。これらに対しては、Beam Hardening Correction (BHC) 技術や Dual Energy CT による仮想単色 X 線画像の生成などが有効である。また、再構成にビームハードニングモデルを組み込むことで、さらなる補正効果が得られる。当社では逐次近似再構成技術および Deep Learning 再構成技術「Advanced intelligent Clear-IQ Engine (AiCE^{*1})」により、アーチファクトおよび画像ノイズの低減を実現している。

■AiCE は、Deep Learning を用いて設計されたノイズ成分とシグナル成分を識別する処理で、分解能を維持したままノイズを選択的に除去する先進の再構成技術である。Deep Neural Network の学習に用いるデータには、「MBIR : Model Based Iterative Reconstruction」で得られた高画質なデータを用い、装置が持つ分解能をより引き出しながら、高いノイズ低減効果が得られます (Fig1)。Canon では全セグメントの CT システムへ展開しており、医療被ばくの低減に貢献する。

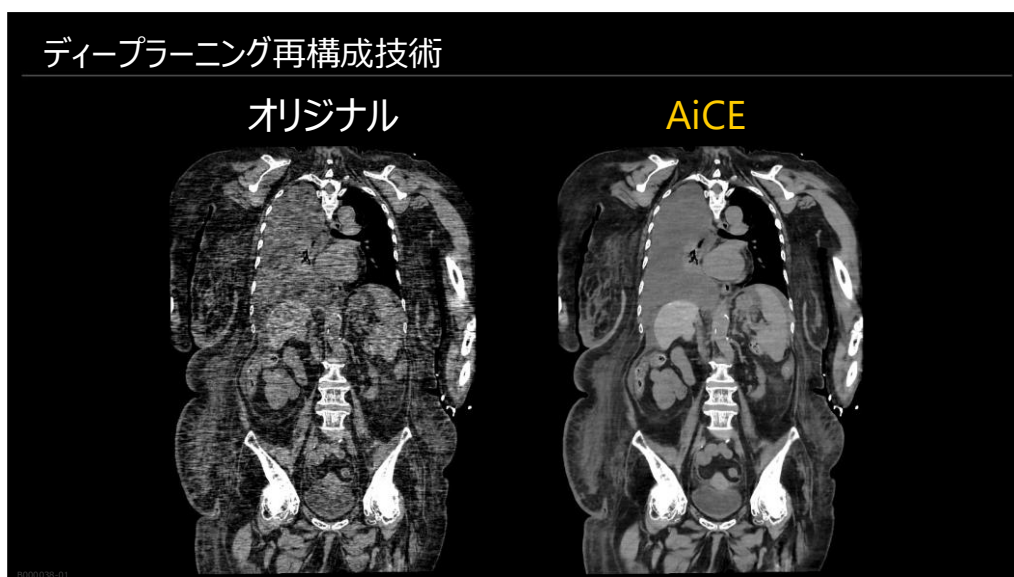


Fig 1 AiCEによるアーチファクト改善

2. モーションアーチファクトへの対応

モーションアーチファクトは、撮影中の被写体運動によって生じるアーチファクトであり、頭部撮影、胸部撮影、心臓・冠動脈撮影などで問題となる。近年では、ディープラーニングを用いたモーション補正技術「CLEAR Motion^{*1}」が導入されており、体動の影響を抑制した高画質な画像の生成に寄与している。

■CLEAR Motionは、Deep Learningを用いて設計した、モーションアーチファクトを低減可能な新たな再構成技術である（Fig2）。Deep Learningを活用することで、高精度なモーション推定によりモーションアーチファクトを低減した画像を、短時間で取得できる。

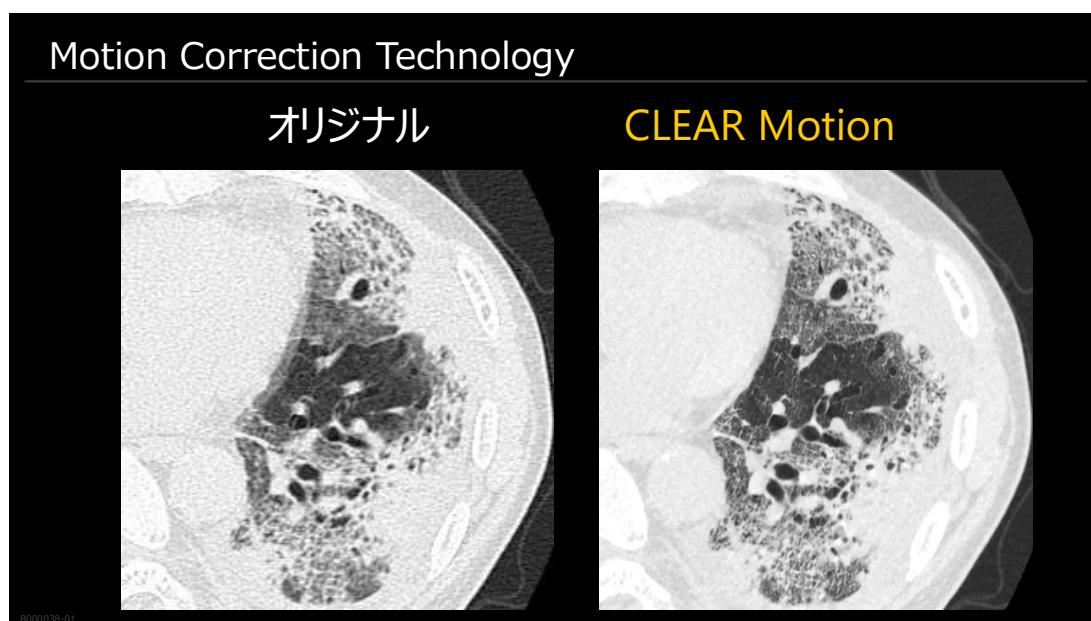


Fig 2 CLEAR Motionによるモーションアーチファクト改善

3. メタルアーチファクトへの対応

メタルアーチファクトは、体内に留置された金属インプラントなどによって発生するアーチファクトであり、X線が金属を透過する際のフォトン不足や散乱の影響により、放射状のストリークや広範囲のCT値低下として現れる。SEMAR (Single Energy Metal Artifact Reduction) は、画像および生データから金属領域を特定し、逐次近似再構成を用いて補間処理を行うことでメタルアーチファクトを低減する再構成技術である (Fig3)。

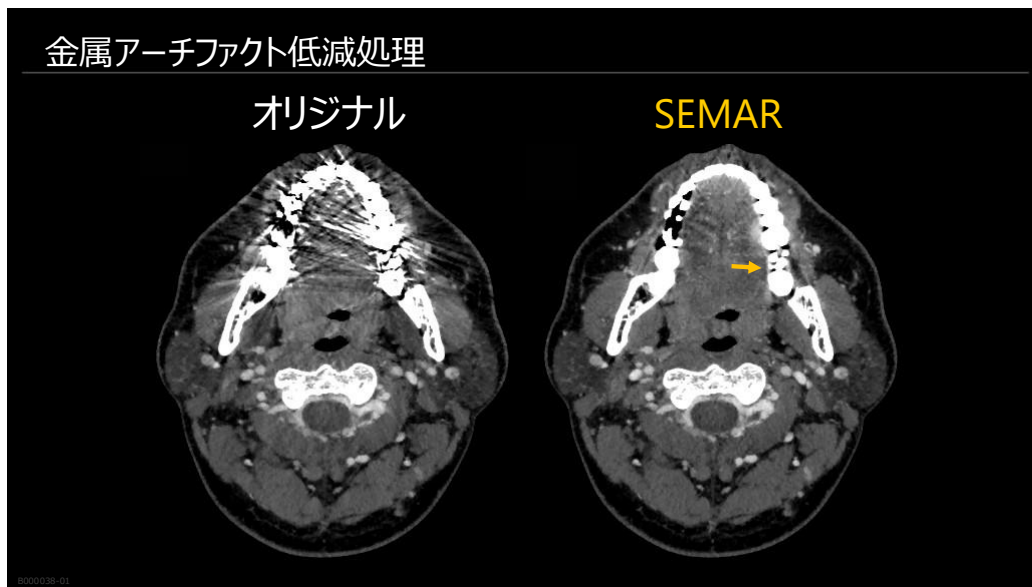


Fig 3 SEMARによるメタルアーチファクト改善

●マルチポジション CT の開発

従来の CT 装置では、患者を寝台に横臥させて撮影する臥位撮影が基本であった。一方、近年では日常生活姿勢における解剖学的・機能的評価への関心が高まっている。このような背景のもと開発されたのが、立位および座位撮影に対応したマルチポジション CT「Aquilion Rise」 (Fig4) である。本装置では臥位撮影に加え、立位および座位での撮影が可能であり、従来の臥位撮影では評価が困難であった荷重状態での形態変化や機能評価が期待される。



Fig 4 Aquilion Rise の外観

1. マルチポジション撮影による新たな臨床価値

人は日常生活の大部分を立位あるいは座位で過ごしている。本装置ではこれらの姿勢での撮影が可能であり、臥位撮影では描出されにくい病態の評価が期待される (Fig5)。また、本装置は従来と同様の臥位撮影にも対応しているため、従来 CT で蓄積された診断知見との連続性を維持した運用が可能である。



Fig 5 各撮影モードの種類 (左から立位撮影モード, 座位撮影モード, 臥位撮影モード)

2. 効率的なワークフローの実現

本装置では患者の入退出を容易にするため、片持ちガントリ構造を採用した。片持ちガントリ構造により広い検査空間と患者動線を確認し、アクセス性を向上させている。さらに Automatic Camera Positioning*2を搭載し、カメラ映像から解剖学的位置を解析することで自動ポジショニングを実現している (Fig6)。立位撮影では臥位撮影と比較して患者入退出時間の短縮が報告されており、これらの機構との組み合わせにより検査スループットの向上と患者負担軽減が期待される。また、歯科領域や胸部検診などのスクリーニング検査への応用も期待される。

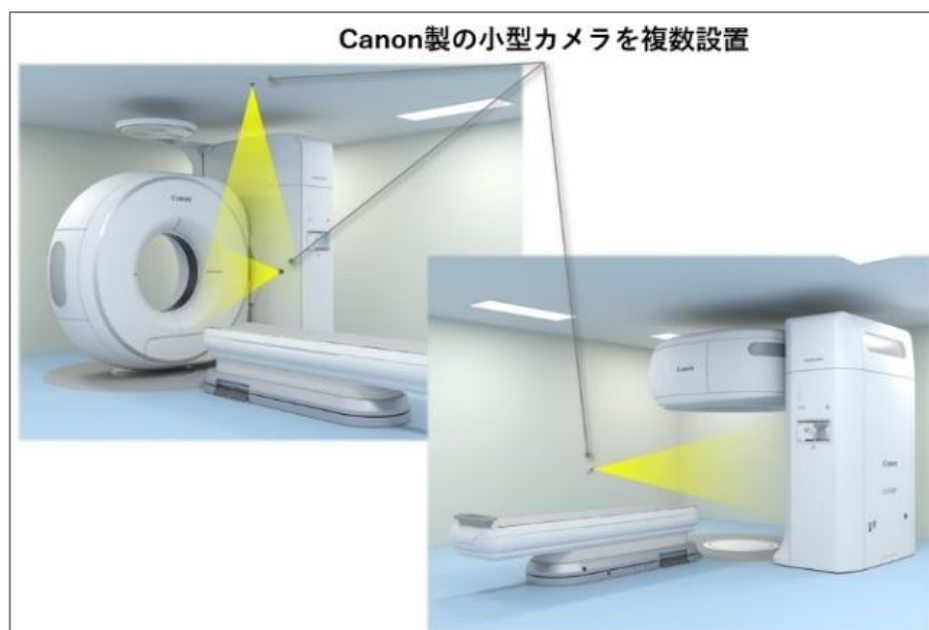


Fig 6 Automatic Camera Positioning を実現するカメラの搭載

●おわりに

本稿では、当社における代表的なアーチファクト低減技術およびマルチポジション CT 「Aquilion Rise」の概要について紹介した。CT 装置には多様な画像補正技術および再構成技術が実装されており、これらを適切に理解し運用することが画質の向上および診断精度の確保につながる。本稿が、当社技術への理解を深めるとともに、日常臨床における CT 検査の質向上の一助となれば幸いである。

*1 : AI 技術のひとつである Deep Learning を用いて設計した処理技術である。本システム自体に自己学習する機能は有していない。

*2 : 設計段階で AI 技術を用いており、本システム自体に自己学習機能は有していない。

一般的名称 : 全身用 X 線 CT 診断装置

販売名 : CT スキャナ Aquilion Rise TSX-402A

認証番号 : 306ACBZX00036000

製造販売元 : キヤノン株式会社

B001615

The logo for JORT features the letters 'JORT' in a bold, black, sans-serif font. The letter 'O' is replaced by a stylized graphic consisting of three overlapping, semi-transparent spheres in shades of gray, creating a 3D effect.

2025 年度 第 3 回役員会 (通算 175 回)

日 時 : 2025 年 10 月 29 日 (水) 18:00～

場 所 : Web 会議

出席者 : 辰見、三島、富里、似内、坂本、蛭川、鹿島、寶部、岩城、後藤、山田、
近藤、石塚、相澤

欠席者 : 吉田、里見、大塚、石澤、羽田野

【報告事項】

1. 会長報告 (辰見)

- 1) 2025 年 9 月 27 日 (土)、JART 令和 7 年度「診療放射線技師養成機関・職域団体との懇談会」(Web) に参加した。
 - ・ 会議では JART Vision 2040 に関する経過報告が行われた。

【長期目標】

国民から求められる新たな役割を獲得すること

- ・ 放射線業務以外の領域への拡大
- ・ 病院以外での業務拡大

【中期目標】(5 年)

- ・ 組織率 70% の達成 (2028 年目標 : 2024 年時点で 60.3%)
- ・ 四病協・養成機関との連携強化
- ・ 管理者の育成とラダーの活用の促進
- ・ 診療放射線技師会組織の強化

【短期目標】(1、2 年)

組織率

- ・ オンラインコンテンツの充実と無料化 (会員は基礎講習無料)
- ・ 過去会誌の電子化と配信 (2024 年 6 月 13 日より会員のみ完全公開)
- ・ 講習会・試験のオンライン化 (CBT 採用)
- ・ 新規入会システムのシステム改修による簡便化
- ・ 若者向け広報戦略 (Tiktok や Instagram・LINE : 登録者数 2,406 名)
- ・ 勤続 40 年表彰の制定・会費免除の検討
技師籍登録初年度は会費無料
- ・ マネージメント研修の見直し (2026 年度 Web 化開始予定)
- ・ 健診事業への参画 (予防医療ラダー2026 年度開始)

事業

- ・ 事業のスリム化、総会・理事会の DX 化
- ・ 委員会・分科会の見直し (業務改善推進委員会・小委員会・分科会の廃止)
- ・ 学生告示研修の確立 (終了)
- ・ ワクチン接種講習会の確立 (2024 年度下期実施、2025 年度全国展開予定)
- ・ 理事会の議題見直し

組織

- ・ 事務局体制の見直し、および役員定年制の検討
 - ・ カスタマーハラスメント対策
- 2) 生殖腺防護における鉛シールド廃止
 - 3) クリニカルラダーの生涯教育推進
 - 4) 会員無料コンテンツの充実、会員全員保険
 - 5) 甲状腺簡易測定モニタリングについて
 - 6) 公式 SNS・新入職学生の求人情報の公開

2. 2025 年度総会・歯科放射線技術研修会の会計報告（2025 年度開催校：山田）

研修会参加者は会員 31 名、メーカー 10 名、講師その他 5 名、スタッフ 7 名で計 53 名だった。懇親会参加者は 45 名であった。会計報告は別紙の通りとした。

3. 学術委員会（吉田）

- ・ 第 3 回役員会終了後、次年度研修会での研究発表募集を開始することとした。
- ・ 内規見直し完了後、奨励賞および調査研究費助成の募集も行う予定とした。

4. ホームページ委員会（相澤）

- ・ 2025 年 7 月 会員コラム追加した。
- ・ 2025 年 8 月 会誌 70 号を掲載、会員コラム追加した。
- ・ 2025 年 9 月 会員コラム追加した。

5. 編集委員会（岩城）

- ・ 次号会誌（通巻 71 号）は概ね良好に進行している。
- ・ 通巻 72 号は、「歯科技術研修会・事前抄録特集号」とする予定である。
 - ・ 巻頭言：明海大学
 - ・ 会員挨拶：13 名
 - ・ 編集後記：純真学園大学
- ・ 巻頭言の執筆予定については、73 号（2026 年 12 月発刊）を愛知学院大学の執筆予定とする報告があった。

6. 会員の活躍

愛知学院大学の後藤 賢一 会員が『診断 X 線領域における吸収線量の標準測定法』（オーム社・2025 年 8 月刊行）を分担執筆した。

【協議事項】

1. 2026年度総会・歯科放射線技術研修会（2026年度開催校：近藤）

- ・ 日時：2026年6月27日（土）、28日（日）
- ・ 主幹：大阪歯科大学（代表者：近藤会員）
- ・ 会場：大阪府中央区「ドーンセンター」（予定）
- ・ 特別講演：有地 淑子 教授（歯科 AI 関連・演題名未定）
- ・ 教育講演 1：秋山 広徳 准教授（歯科領域の画像診断関連・演題名未定）
- ・ 教育講演 2：PHILIPS 宅見 寿輝氏（最新の MRI 技術関連・演題名未定）
- ・ 懇親会会場・二次会：天満橋駅周辺で実施予定
- ・ 病院見学：見学計画書を提出する予定

2. 次回アンケート調査について（辰見）

- ・ 技師学校在籍学生の歯科領域 X 線検査の認知度調査（項目検討中）
- ・ 歯科部分パノラマ断層撮影装置の普及率・活用状況調査（項目検討中）

3. パノラマおよび CBCT の線量管理方法の普及（辰見）

普及方法について引き続き検討することとした。

4. JORT 総会研修会運営内規の見直しについて

- ・ 出張旅費支給規約を改訂し、宿泊費上限を引き上げた（2025年12月施行）。
- ・ 研修会発表者への補助制度を新設し、次回役員会で内規案を検討することとした。

5. 会誌印刷について（里見）

- ・ 印刷会社より、発行部数減少にも対応可能との回答を得た。
- ・ 会誌 70 号を基準に算出した場合、減額できると報告があった
次回第 4 回役員会で継続して協議することとした。

6. その他

JORT 会誌での「後抄録」の掲載方法について検討した。

- ・ 多重投稿の定義や許容範囲を明確にするため、学術委員会および編集委員会にて調査を行い、第 4 回役員会で協議することとなった。

次回役員会

Web にて開催予定（2026年2月ごろ、日程は後日決定）。

今後の総会・研修会予定

2026年 大阪歯科大学

2027年 日本大学

2029年 JORT 創立 40 周年（創立 1989 年）

- [名称] 第1条 本会は、全国歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師連絡協議会（略称：全国歯放技連絡協議会）と称し、英文では **The Japanese Meeting of Radiological Technologists in Dental College and University Dental Hospital** と表記する。
- [目的] 第2条 本会は、会員が相互に連絡をもって研鑽し、医育機関病院の診療放射線技師としての資質の向上を計り、歯科医療の発展に貢献することを目的とする。
- [事務所] 第3条 本会の事務所は、役員勤務場所に置く。
- [会員] 第4条 本会の会員は次の5種とし、施設会員、特例施設会員、個人会員を正会員とする。
- (1) 施設会員：歯科部門における診療放射線技師が複数名いる施設
 - (2) 特例施設会員：役員会で承認された施設
 - (3) 個人会員：本会の趣旨に賛同する個人で、役員会で承認された者
 - (4) 賛助会員：本会の発展に協力する団体で、役員会で承認された団体
 - (5) 名誉会員：本会に対し特に功績のあった会員で、総会で承認された者
- [役員] 第5条 1 本会は、次の役員を置く。
- | | |
|------------|-------------|
| (1) 会長 1名 | (2) 副会長 2名 |
| (3) 総務 1名 | (4) 会計 1名 |
| (5) 幹事 若干名 | (6) 会計監査 1名 |
- 2 会長、副会長および会計監査は、事前に正会員の中から立候補者を募り総会において選出する。総務、会計および幹事は、会長の指名による。
- 3 顧問は、会長が任命し、役員会の承認を必要とする。
- 4 役員任期は2年とし、再任を妨げない。
- [会議] 第6条 1 総会は、原則として毎年1回開催するものとする。
- 2 総会は、会長がこれを招集し重要な事項を審議する。
- 3 総会の議長は、出席者の中から選出する。
- 4 総会の議決は、出席者の過半数による。ただし、可否同数の場合は、議長の決するところによる。
- 5 その他、会長が認める場合には、臨時の会議を開催できる。
- [会計] 第7条 1 本会の経費は、会費およびその他の収入をもってこれに充てる。
- 2 本会の会計年度は、毎年4月1日より、翌年3月31日迄とする。
- 3 施設会員の会費は、1施設年額10,000円とする。
- 4 特例施設会員の会費は、1施設年額5,000円とする。
- 5 個人会員の会費は、年額4,000円とする。
- 6 賛助会員の会費は、年額100,000円とする。
- 7 名誉会員は会費納入の義務が免除される。
- [付則] 第8条 1 本規約の変更は、総会の承認を必要とする。
- 2 本規約は、平成元年10月19日から実施する。

(平成4年7月11日に一部改正)

(平成6年7月9日に一部改正)

(平成8年7月28日に一部改正)

(平成12年7月1日に一部改正)

(平成29年7月1日に一部改正)

【2024、2025年度 役員、委員会】

「役員」	会長	辰見 正人	(九州大学)		
	副会長	三島 章	(鶴見大学)	富里 博	(東京科学大学)
	会計監査	似内 毅	(日本大学松戸歯学部)		
	会計	坂本 彩香	(日本歯科大学)		
	総務	相澤 光博	(東京歯科大学)		
	幹事	大塚 昌彦	(広島大学大学院)	吉田 豊	(純真学園大学)
		里見 智恵子	(日本大学)	蛭川 亜紀子	(愛知学院大学)
		鹿島 英樹	(大阪大学)	寶部 真也	(神戸常盤大学)
		岩城 翔	(岩手医科大学)	後藤 賢一	(愛知学院大学)
		羽田野 政義	(新潟大学)	石澤 博和	(明海大学)
	顧問	石塚 真澄	(東北大学)		
	2026年度開催校	近藤 淳史	(大阪歯科大学)		

「委員会」 ●委員長

学術委員会 ●吉田 豊、後藤 賢一、相澤 光博、遠藤 敦、永田 守、倉本 卓、高根 侑美、
今城 聡

ホームページ委員会

●相澤 光博、宇田川 孝昭、関根 弘喜、稲富 大介、北森 秀希

編集・企画委員会

●岩城 翔、吉田 豊、蛭川 亜紀子、稲富 大介、宇田川 孝昭、里見 智恵子

投稿規定

使用ソフト：文書 Word、画像・図 JPG

原稿サイズ：**A4**

余白：**上下左右 25 mm**

文字数：**42 文字**

行数：**40 行**

但し、最初のページは表題がつくため **35 行**

フォント：**MS 明朝、半角英数は Century**

タイトル 12 ポイント、所属・氏名 11 ポイント、**本文 11 ポイント**

タイトル、所属機関、氏名を記載

会員の所属機関は大学名のみ（例：鶴見大学）とし、それ以外の方は所属機関、部署、役職を記載。

原稿は締切り期限を厳守し、下記までメールにてお送りください。

岩手医科大学附属病院 中央放射線部 岩城 翔 iwate.no.iwaki86@gmail.com

会員情報の変更について

会員情報に変更がありましたら、下記までメールにてお知らせください。

また、会誌郵送先の変更等がありましたら、合わせてお知らせください。

〒101-8310 東京都千代田区神田駿河台 1-8-13

日本大学歯学部附属歯科病院 放射線室

里見 智恵子

satomi.chieko@nihon-u.ac.jp

TEL：03-3219-8084（直通）

FAX：03-3219-8354

【今後の関連学会予定】

- ・ 第 42 回日本診療放射線技師学術大会
2026 年 9 月 11 日（金）～13 日（日） 山形ビッグウイング
(現地開催+オンデマンド)
- ・ 日本歯科放射線学会第 7 回秋季学術大会および教育研修会
2026 年 10 月 2 日（金）～4 日（日） ベネックス長崎ブリックホール
- ・ 第 54 回日本放射線技術学会秋季学術大会
2026 年 10 月 23 日（金）～25 日（日） G メッセ群馬
- ・ 日本歯科放射線学会第 67 回学術大会・第 23 回定例総会
2027 年 6 月 4 日（金）～6 日（日） 昭和医科大学上條記念講堂

学会の開催方法や日時、会場など変更となる場合がございます。
あらかじめご了承ください。

編集後記

会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。この編集後記を書いているのが1月の中旬ですが、2026年が始まってすぐにとっても嬉しいことがありました。子供達と一緒にタグラグビーを行っていることは前回担当した編集後記に書きましたが、そのタグラグビーの南関東ブロック大会で長女のチームが優勝し、全国大会に出場することになりました。山梨、長野、神奈川それぞれの予選を勝ち上がった上位2チームずつ、計6チームの総当たり戦の成績上位2チームが全国大会に出場します。ただし、同じ県からは1チームしか出場できないルールで、長女のチームは神奈川県予選1位のチームに勝たないと全国大会には出場できない状況でした（鶴見は神奈川県予選では2位）。因縁の神奈川対決は3対3の引き分け、最終試合の得失点差勝負にまで纏れる手に汗握る展開でした。

昨年、長女がまだ5年生の時に同大会で神奈川1位のチームに負けて優勝を逃し、来年は絶対に優勝して全国大会に出場するぞ！と悔し涙を流す姿を今でも鮮明に覚えています。自分も何か力になれたらとこの敗れた日から1年間、平日の朝6時から7時まで一緒に朝練に参加し、夏休みの大半を練習に費やしてサポートをしてきました。タグラグビー漬けの毎日で本当にあつという間で、大変な事も沢山ありましたが楽しい1年間でした。去年の先輩も山梨まで応援に駆けつけてくれ、表彰式後に先輩と泣きながら抱き合っているのを見て、こちらも貰い泣きしました（写真左）。6年生、最後の年にここまで頑張ってきた長女の努力が報われて本当に良かったと思います。この日の打ち上げのビールと焼肉は最高においしかったです。

中学、高校と成長するに連れて、ここまで子供と一緒に何かに打ち込むと言うことは無くなると思うので、とても良い経験をさせてもらったなと思います。

会員の皆さんに会誌が届く頃には長女が中学1年生になって新しい生活をスタートさせていると思います。中学にはタグラグビーは無いので、中学生になってもこれだけ熱くなれる何かを探してもらえたらなと思います。

鶴見大学 宇田川



2026年6月1日 発行

発行人 全国歯放技連絡協議会 会長 辰見 正人
編集 全国歯放技連絡協議会 編集委員会
岩城 翔、里見 智恵子、吉田 豊
蛭川 亜紀子、稲富 大介、宇田川 孝昭

発行所 〒812-8582
福岡県福岡市東区馬出3-1-1
九州大学病院 口腔画像診断科
TEL 092-642-6471

定 価 1,000円（送料 当方負担）

JORT

掲 載 広 告

朝日レントゲン工業株式会社 (表紙裏 ; 賛助会員)

株式会社 モリタ (裏表紙 ; 賛助会員)

株式会社 フラット (裏表紙裏 ; 賛助会員)

キヤノンメディカルシステムズ株式会社

株式会社 DD メディカ

株式会社 阪神技術研究所

PSP 株式会社

クロステック株式会社

長瀬ランダウア株式会社

トロフィー・ラジオロジー・ジャパン株式会社

アルト株式会社

株式会社 歯愛メディカル

12 社 申込み順